

2018年3月16～18日 四日市東日本大震災支援の会 第52回派遣 熊本県西原村仮設住宅サロン活動

(暫定版) 2017年12月28日
四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

われわれ支援の会は、熊本県西原村において、2016年5・7・9・11月、2017年3・5・7・9・11月に、避難所支援、村内見守り活動、仮設住宅でのサロン活動などの緊急救援・生活支援・復興支援活動を行ってきた。2017年11月の段階において、生活再建によって仮設住宅から退去できた方はまだ少ない。災害公営住宅への入居は8月に予定されており、約70世帯が新しく建設される災害公営住宅へ引っ越すことになっている。今後は、状況を見極めながら自立再建、公営住宅入居に向けた歩みに寄り添っていききたい。

<活動概要>

■西原村仮設住宅でのお茶会&足浴交流会 (C・D棟2か所の集会所で開催)

申込 定員 19名：以下の情報をメールで送信してください。*以前に参加した方は氏名のみ

★氏名・フリガナ・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号・緊急連絡先

メール：kito@yokkaichi-u.ac.jp

費用負担など

高校生・大学生 13,000円 (学生スタッフ 6,000円、ドライバー0円) 一般 22,000円

★活動日の昼食・夕食を支給 (その他の食事は各自負担)

★宿泊(素泊まり)；熊本県山鹿市山鹿 1838「旅館巳喜(みき)」電話 0968-43-5178

★高校生・大学生は保護者と参加者本人がサイン・捺印した参加同意書を提出してもらいます。

参加費支払先など

★出発当日に同意書・参加費を会計担当のスタッフまで

★問合せ先：鬼頭；携帯電話：090-4266-2348

キャンセルに対する考え方

支援の会は、バスが満席になって収支がバランスする極めて財政的にギリギリの運営をしています。突然のキャンセルがありますと、支援の会にとって大きな痛手となります。3月2日昼12時以降のキャンセルは全額を負担いただきたいと思います。ご理解ください。

<スケジュール概要>

★3月16日(金)

20:00 四日市大学9号館集合 (食事・入浴・歯磨きを終えて集合してください)

20:30 四日市大学出発 (四日市大学バス停裏の職員駐車場)

★3月17日(土)

9:00頃；仮設住宅到着

10:00～16:00 ボランティア⇒萌の里で土産購入⇒旅館巳喜 入浴&宿泊 (夕食は旅館で支給)

★3月18日(日)

6:30 旅館出発 帰路 ⇒ 18:00頃大学帰着



■参加優先順位について

申込は 10 月末までに参加意思を表明した者のうち、以下の優先順位で参加者を決定します。参加を希望していても以下の優先順位で行けなくなった学生は、次回 11 月の派遣で優先させていただきます。

- ①ドライバー3名
- ②大学生スタッフ 6名(うち、過去に C・D 棟で活動経験を持つものを優先)
- ③鈴鹿大学卒 2名
- ④初めて参加する大学生

<持ち物(スーツケースは厳禁、積み込みやすい柔らかいバッグでコンパクトに!)>

- ・筆記用具(活動中に記録をとる小さなメモ帳は必ず用意してください)
- ・健康保険証・常備薬・歯磨きセット
- ・お金(親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です)
- ・かさ・帽子・電池式携帯充電器
- ・エプロン(交流会では、全員が着用します)
- ・ボランティア活動保険証書(支援の会で加入し、集合した時に配布します)
- ・マクラ・クッション・アイマスク・マスクなど(バス移動に使用)
- ・入浴用タオル、着替え、歯磨きセット、ビニール袋など(旅館ではアメニティは使用しません)

<注意点、守るべきこと>

- ・被災した家屋や被災者にカメラを向けないこと(車内からの遠景撮影は OK)
- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や孫、友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・仮設住人全てが住んでいた家を失った経験をしていることを常に忘れないでください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的に NG です。深い絆ができれば、交換も OK です。
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう
- ・活動中の写真や映像が、ホームページや報道で使われることがあります。了承ください。

<マイクロバス運行体制>

本会の熊本派遣では、日ごろから中型・大型の運転に慣れたメンバー2~3名が、交替でマイクロバスを運転していきます。